

なお、この件に関連して「部課長手当を市民や議会に知らせずに大幅に引き上げたことに抗議し、すみやかな是正を求める陳情書」が市民団体から提出されました。

陳情書は、①議会の議決を経ないで市長が勝手に部課長手当を決める方式を改め、議会の議決が必要となるよう制度改正を図ること、②このたびの部課長手当の大幅引き上げを是正し、額を引き下げること、を求める趣旨で、極めて常識的な内容でした。

しかし、市議会は、6月23日の本会議で、陳情書を賛成10反対13で不採択としました。

公務員給与は「給与条例主義」、つまり議会の議決により条例で定めることが原則です。それに、妥当性を欠くプロセスで引き上げたのですから、引き下げ

は当然です。引き下げれば、新型コロナウイルス対策のための財源を生み出すこともできるのです。陳情の不採択は著しく不当です。

陳情書への賛否は以下のとおりでした。

陳情書に賛成した議員

情報公開こがねい（渡辺大三）、自民党信頼（遠藤・湯沢・吹春・清水）、公明党（宮下・紀・渡辺ふき子・小林）、市民カエル（片山）

陳情書に反対した議員

みらいのこがねい（鈴木・村山・岸田・沖浦）、共産党（板倉・水上・たゆ）、こがおも（白井・水谷）、市民会議（斉藤）、ネット（田頭）、改革連合（篠原）、緑つながる（坂井）

※五十嵐議長（自民党信頼）は採決に加わらない。

「庁舎等建設は慎重な検討を」「財源はコロナ対策に最優先で配分を」

市議会、賛成14反対9で決議を可決

小金井市議会は、6月23日の本会議において「新型コロナウイルス感染症を踏まえ、新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設に関して、慎重な検討を求める決議」を、賛成14反対9で可決しました。

決議案は私が原案を起草し、「新型コロナウイルス感染症対策や、コロナ問題で困窮している市民や事業者への支援を最優先すべき」「新型コロナウイルス感染症が社会経済や市財政に与える影響を慎重に見極めるべき」との認識を共有している他会派と共同で提出しました。全国的にも、巨額の支出を伴う庁舎建設に慎重な自治体が出始めており、小金井市も当然慎重に検討すべきです。

可決された決議の全文は以下のとおりです。

新型コロナウイルス感染症を踏まえ、新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設に関して、慎重な検討を求める決議

新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界も我が国も甚大な人的、経済的被害を受けている。しかも、いまだ終息時期は見通せず、今秋以降の第二波、第三波の襲来も強く懸念されるところである。世界経済の急激な悪化は、国、東京都、そして本市の今後の財政運営にも深刻な影響を与えるものである。

そのような状況下、国内では、庁舎建設の発注を延期したり、建設計画そのものを凍結したりする事例も発生しているところである。新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態を踏まえ、慎重な対応をすることは、住民福祉の向上を最大の目的とする自治体として当然のことである。また、そもそも庁舎建設は市民の理解と納得に立脚して行われるべきものである。

本市においては、庁舎及び（仮称）福祉会館の建設は、基本設計を本年3月に終え、6月2日に実施設計を契約した旨が市長から報告された。

市長は当初「市民への新たな負担はない」と説明していた。しかし、総事業費は約107億円（起債（借金）の利息を含まない額）にまで膨張し、事業収支も明確にはなっていない。現時点では、新型コロナウイルス感染症の影響を反映した市全体の財政計画すら示されていない。

よって、小金井市議会は、市長に対し、以下の事項を強く求めるものである。

1 新型コロナウイルス感染症の拡大という人類史に残る重大事件に直面した現在、市民の生命・健康・生活・営業の維持を最優先すべく、新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設に関しては、丁寧に進めること。

2 現下の社会経済情勢を踏まえ、市の限りある財源は、新型コロナウイルス感染症対策及び市民や事業者の支援に最優先に配分すること。

3 新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設の詳細な事業収支、市全体の財政計画を示し、市民及び議会の理解を得ること。

4 新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設の抜本的なコストダウンが必要と判断される場合は、これまでの基礎的与条件の見直しを含め、あらゆる可能性を検討すること。

5 重大な感染症の発生にも対応するという要素を加味して、設計の見直しの必要性を検討し、議会に示すこと。

以上、決議する。

令和2年6月23日 小金井市議会

決議案への賛否は以下のとおりでした。

決議に賛成した議員

情報公開こがねい（渡辺大三）、自民党信頼（遠藤・湯沢・吹春・清水）、公明党（宮下・紀・渡辺ふき子・小林）、共産党（板倉・水上・たゆ）、市民会議（斉藤）、市民カエル（片山）

決議に反対した議員

みらいのこがねい（鈴木・村山・岸田・沖浦）、こがおも（白井・水谷）、ネット（田頭）、改革連合（篠原）、緑つながる（坂井）

※五十嵐議長（自民党信頼）は採決に加わらない。

渡辺大三が原案を起草… コロナ対策基金設置条例、可決



小金井市議会は、6月23日の本会議で、「新型コロナウイルス感染症対策基金設置条例」を賛成22退席1で可決しました（退席1は改革連合）。

同条例案は、私が必要性を訴えて原案を起草し、他会派と共同で提案したものです。

新型コロナウイルスの第二波、第三波の襲来も懸念される場所ですので、直接的な感染症対策はも

とより、「いざ」という場合に備えて、市民や事業者の生活・営業を支える財源をきちんと用意しておきたいと考えました。

議員報酬、市長等給与をカット

同日の本会議では、市議会議員の7月の議員報酬を20%カットする条例案が賛成18反対1退席4で可決されました。

市長、副市長、教育長も議会側の対応にならって7月分の給与を20%カットしました。本来でしたら、「議会がやるなら・・・」ではなく、自主的にカットしてほしかったと思います。

こういった措置で生み出した財源なども、このたび創設した「新型コロナウイルス感染症対策基金」に積んで、市民や事業者の支援に生かしていきたいと考えています。

なお、7月の議員報酬20%カット条例への賛否は以下のとおりでした。本来ですと、このような措置は全員賛成が望ましいと考えましたが、そうならなかったのは残念でした。

議員報酬カットに賛成した議員

情報公開こがねい（渡辺大三）、自民党信頼（遠藤・湯沢・吹春・清水）、公明党（宮下・紀・渡辺ふき子・小林）、みらいのこがねい（鈴木・村山・岸田・沖浦）、こがおも（白井・水谷）、ネット（田頭）、市民カエル（片山）、緑つながる（坂井）

議員報酬カットに反対した議員

市民会議（斉藤）

退席（棄権）した議員

共産党（板倉・水上・たゆ）、改革連合（篠原）

※五十嵐議長（自民党信頼）は採決に加わらない。

市長提出のコロナ対策予算に対して 2件の決議を可決

6月1日から23日まで、小金井市議会は6月定例議会を開催しました。西岡市長から、新型コロナウイルス感染症対策で、複数の補正予算案が提出されました。市議会は、いずれも賛成多数で可決しました（私はいずれの補正予算案にも賛成）。一方、私は、市長提出の予算案にはいくつかの問題点があると考え、2件の決議案を起草しました。そして、他会派と共同で提出しました。

1件目の決議案は、一般会計補正予算（第2回）に対するもので、市長に対し、4つの問題点を指摘しま